

事例報告「仲原東自治会」

令和4年度 地域の底力発展事業助成

「スマートフォン教室」の開催

仲原東自治会について

- 設立：1987年（昭和62年）5月10日
「仲原1・2丁目自治会」として発足
- 2013年（平成25年）に現在の会名へ変更
仲原1・2丁目周辺の広い地域を対象とした
- 会員世帯数：103世帯（令和5年4月現在）



自治会役員・班長の構成

【本部役員：10名】任期：1期2年

会長：6代目 坂上和夫 会長

令和3年4月に就任 今年再任で2期目

会長、副会長（3名）、会計（2名）、

会計監査（2名）、事務局（2名）

【会長委嘱役員：7名】任期：1期2年

総務企画部（3名）、広報部（3名）、

防災部（1名）、シニア部（本部役員兼任）

【班長：11名】任期：1年



定例会：28名の役員・班長により、
毎月 第一土曜日 仲原集会所にて開催

スマートフォン教室の開催

「令和4年度東京都地域の底力発展事業助成」対象事業

スマートフォン教室

開催日：令和4年9月8日(木)

時間：13:00～16:00

場所：仲原集会所

定員：先着20名 参加費：無料

対象者：スマホ未経験者、初心者、
もう少し使いこなしたい方



詳しくは、仲原集会所玄関内に置いてある
開催案内をお持ちください

東大和市仲原東自治会

- 開催日：令和4年9月8日(木)
- 時間：13:00～16:00
- 場所：仲原集会所 集会室
- 受講者人数：20名 内非会員13名
- 周辺地域へチラシをポストインして会員以外にも募集をしました。
- 今回の企画は、コロナ禍でシニア部の活動が無くなったことがきっかけでした。
- 事業費 59,600円 内助成 57,000円
自己負担は、2,600円でした。

スマホ教室 スケジュール



▶ 集団講義 + 操作演習（2時間）

講義内容の操作マニュアル資料を使って説明した後、4人の講師が個別に指導してくれました。

〔基本操作〕 タップ、スワイプ、ドラッグ、
写真撮影、QRコードの使い方、他
〔応用操作〕

インターネット、LINEの使い方、
インターネット利用の注意点、など

▶ 質疑応答（1時間）

基本から応用まで、個別に質問と
相談に対応してくれました。



マニュアル資料による説明

2. スマホの基本操作をやってみましょう

画面に直接触れて操作します。練習してコツを覚えましょう。

ロングタッチ (長押し)



画面に指を触れたまま、押し続ける操作です。メインの操作とは別の機能を呼び出す時に使われます。

ドラッグ

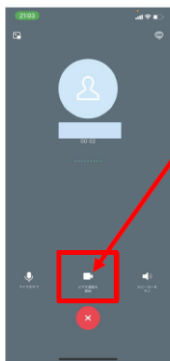


画面に指を触れたまま指を目的の場所まで移動する操作です。アプリを移動させたり拡大表示した写真をずらすときによく使います。

14

6. LINE(ライン)を使ってみましょう

①通話中からビデオ通話のはじめ方



『ビデオ通話を開始』を押せば、ビデオ通話に切り替わります。

②ビデオ通話をはじめからする方法



『ビデオ通話』を押せば、ビデオ通話が始まります。

受話器マークをおします。

ポップアップします。



41

➤ 講義メニューごとにスマホ画面が映し出された操作マニュアル資料が参加者に配布されました。

➤ マニュアル資料は、受講終了後に、操作がわからなくなった場合でも、再度このマニュアル資料を見ながら、ご自身で操作ができるように、作成されています。

企画・準備・運営について

- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大防止普及啓発事業（令和3年3月に実施）の経験があったので、事務的な流れはスムーズであった。

なお、地域の底力発展事業ガイドライン（マニュアル）が完備されているので従えば安心です。

- ▶ 教室の準備・運営は、講師おまかせなので、自治会側は会場の確保と設営だけで進められた。
- ▶ 都の助成事業は、対象者を限定できないので、自治会非会員も対象として、企画・運営しなければならないことに注意が必要です。
- ▶ 非会員も対象となることから、自治会活動の周知と加入促進の効果が期待できます。

地域住民の連携役としての活動



- 納涼祭、もちつきなどを通じて地域住民の和を拡げて、**みんなが挨拶できる明るい街に**
- 防犯パトロール、地域清掃活動を通じて安全で環境美化が行き届いた**住みよい街づくりを**
- 防災訓練・自主防災組織による防災力の向上で**自助、共助ができる街づくりを**

★ 防災対策普及啓発事業（R4年度都助成）を実施
後にスマホ教室参加者2世帯の入会がありました。

- 生活改善のための**情報共有と関係機関との連携**

★ 認知症サポーター講習会の実施（R5年1月）
高齢者ほっと支援センター「きよはら」との連携



会員だけでなく地域住民への連携役を視野に入れた活動のために「地域の底力助成事業」の積極的活用を予定